

基礎案での記載箇所		章項目	5. 3. 1	ページ	p.46	行	19行目
事業名	砂防堰堤、山腹工		河川名	瀬田川、木津川			
府 県	滋賀県、奈良 県、三重県	市町村	15市町村		地先		

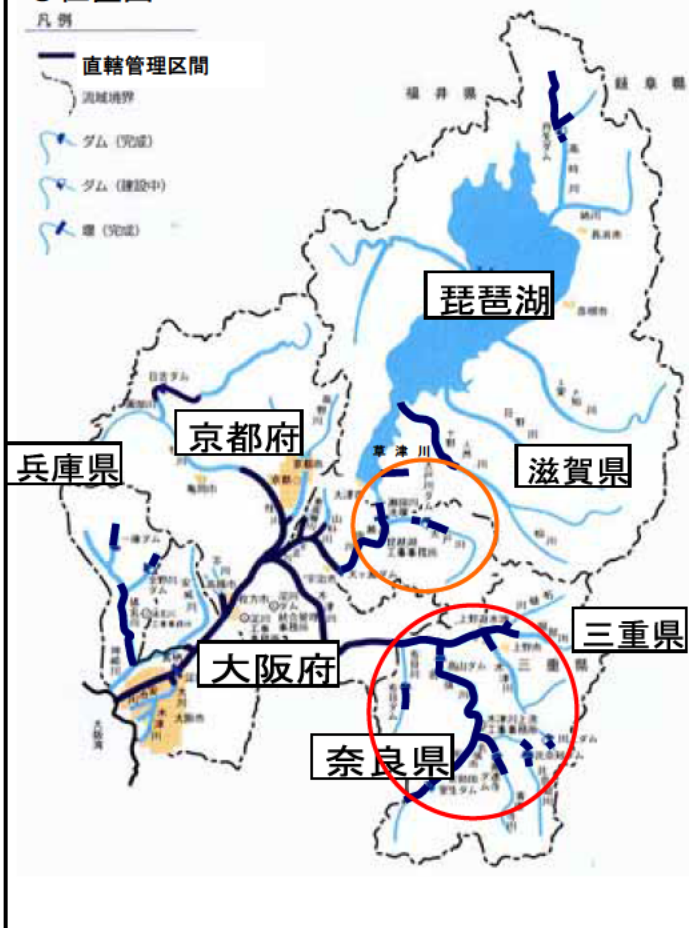
●現状の課題

・淀川水系では、過去に多くの大規模な森林荒廃や山腹崩壊が発生し、洪水時にそこから生産される土砂が下流へ大量に流れ込み、多くの人命財産に被害をもたらしてきた。

●河川整備の方針

・洪水時における多量の土砂流出による、河床の上昇防止やダム貯水池に流入する土砂を抑制する必要がある。また、山地から海岸までの土砂収支のバランスを図る必要がある。このため山腹工による森林の復元や砂防堰堤の整備の継続実施を行うとともに、森林の保全・整備の検討について関係機関との連携を図る。

●位置図



●具体的な整備内容

土砂移動のモニタリングを実施し、その結果を踏まえ、洪水の流下を阻害する河床上昇の防止やダム貯水池に流入する土砂を抑制し、また、山地から海岸までの土砂収支のバランスを図るため、山腹工による森林の復元や砂防堰堤の整備の継続実施、森林の保全・整備の検討について関係機関との連携を図る。

- (1) 瀬田川 山腹工を含む砂防施設の整備及び維持管理
- (2) 木津川 山腹工を含む砂防施設の整備及び維持管理

● 平面図



瀨田川砂防管内

木津川砂防管内



■多羅尾災害／昭和28年8月／滋賀県信楽町

・昭和28年災害(多羅尾災害)

昭和28年8月の集中豪雨により、大戸川流域の多羅尾地区を中心に山崩れが多数発生し、多くの人命・財産に被害をもたらした。

●整備効果

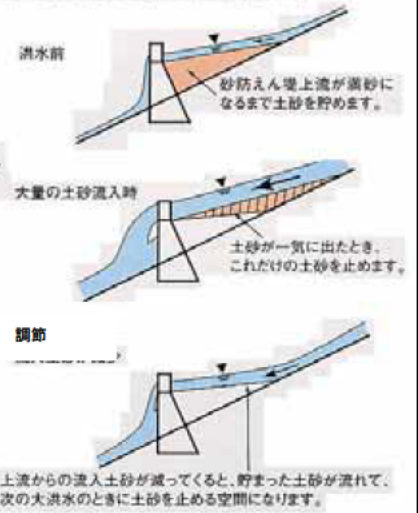
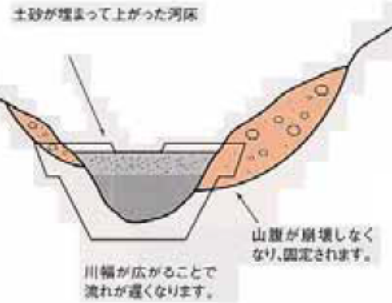
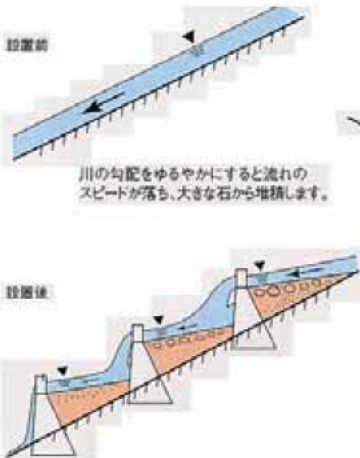
○砂防堰堤

- 現在、瀬田川砂防管内に87基、木津川砂防管内に103基の砂防堰堤があり、その殆どがコンクリート堰堤の不透過型である。
- これらの堰堤は以下に記するような流出土砂の抑制、調節機能を発揮している。

①土砂が貯まることによって、川底が削られるのを防ぎます。また勾配がゆるくなることで水の流れが遅くなります。

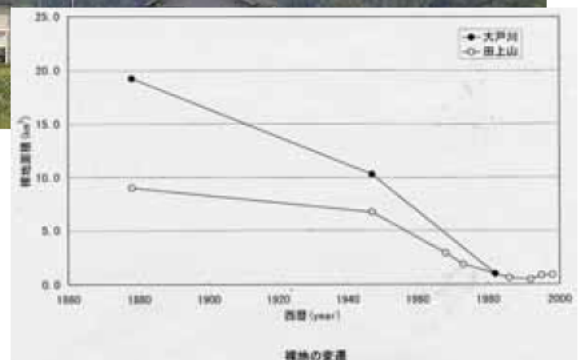
②土砂が貯まり、川底が上がることで浸岸のくずれを防止します。また川幅が広がることで水の流れが遅くなります。

③一度に大量の土砂が出るのを防ぎます。



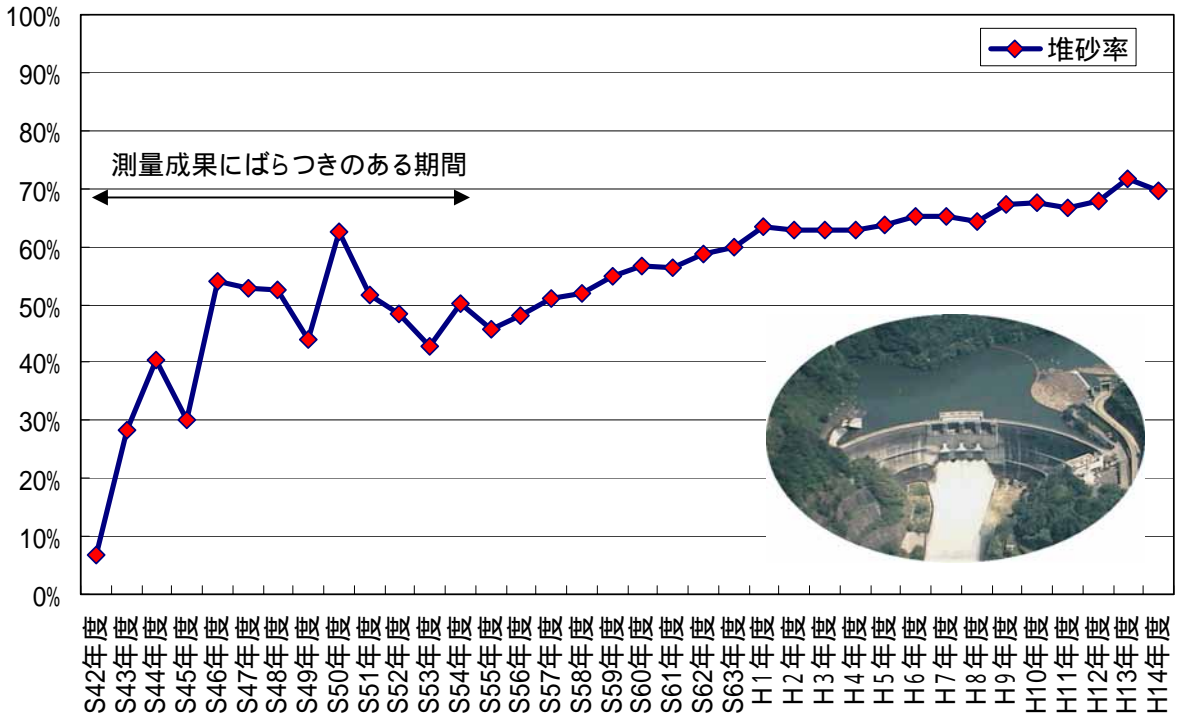
○山腹工

現在、瀬田川砂防管内に1,694ha、木津川砂防管内に6.71haの山腹工が整備されており、土砂の生産源となる荒廃山地を緑化することにより土砂生産を抑制する効果がある。



提案理由

天ヶ瀬ダムでは、現在、堆砂容量^{注)}の約70%が既に流入土砂で堆砂しているが、上流域の砂防工事による効果から近年の年間堆砂量は以前と比較して大幅に減少している。今後も土砂流出を抑えるため、滋賀県砂防治山連絡調整会議等で関係機関と調整しながら、山腹工等を施工する。



天ヶ瀬ダム貯水池内の堆砂状況

注) 元々、ダムには治水、利水のために使う容量とは別に、土砂がたまって良い容量(堆砂容量)を設けている。通常、堆砂容量は100年間に流入する土砂の量で設計しており、たとえ、その堆砂容量が一杯になったとしても、治水、利水容量は別に確保されているため、ダム本来の目的には支障がないが、それ以上の堆砂は治水、利水容量を侵すこととなり治水安全上好ましくない。

砂防堰堤の設置



瀬田川砂防における山腹工の実施



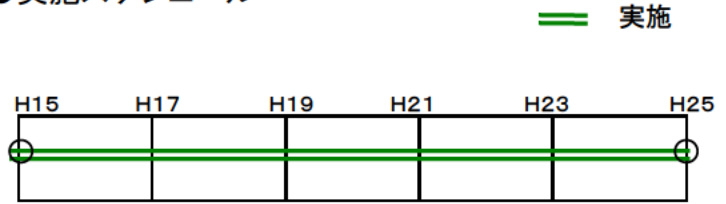
(田上山卒業記念植樹の様子)

●具体的な整備内容

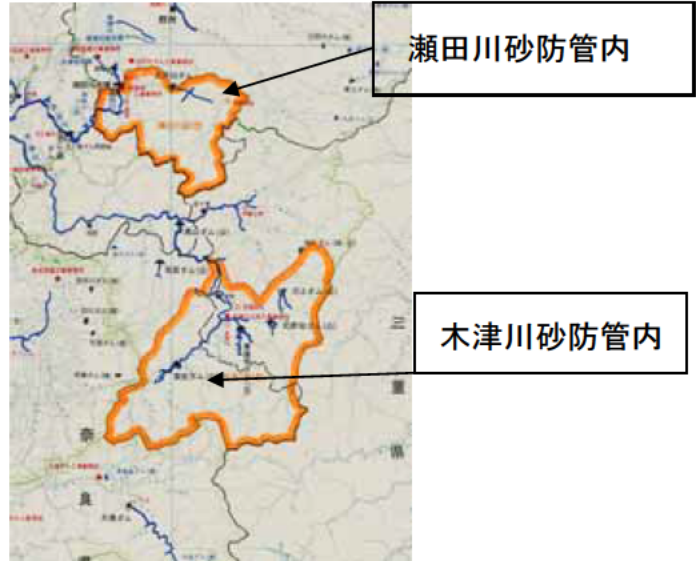
土砂移動のモニタリングを実施し、その結果を踏まえ、洪水の流下を阻害する河床上昇の防止やダム貯水池に流入する土砂を抑制し、また、山地から海岸までの土砂収支のバランスを図るため、山腹工による森林の復元や砂防堰堤の整備の継続実施、森林の保全・整備の検討について関係機関との連携を図る。

- (1) 瀬田川 山腹工を含む砂防施設の整備及び維持管理
- (2) 木津川 山腹工を含む砂防施設の整備及び維持管理

●実施スケジュール



●平面図



●委員会等からの意見

直轄河川以外の領域で検討することの重要性は、過去における災害事例に見られるとおりである。したがってその部分を含めて、全体についての「検討」を行うことが必須である。

●進捗状況

瀬田川

- ・天神川6号えん堤完成
- ・土石流危険渓流4箇所(牧・多羅尾・南郷・伝導谷)において堰堤設計業務実施
- ・保育A工実施(平成19年度完了)
クロマツがヒメヤシャブシに被圧されるのを防ぐため、植栽後4, 7, 10年目にヒメヤシャブシの間伐を行ってきた。平成11年度以降は広葉樹を植樹している。

木津川

- ・土石流危険渓流3箇所(谷出、灰立川、飯垣内)において堰堤実施設計中
- ・矢オロシ第4堰堤施工中
- ・名張川山腹工施工中

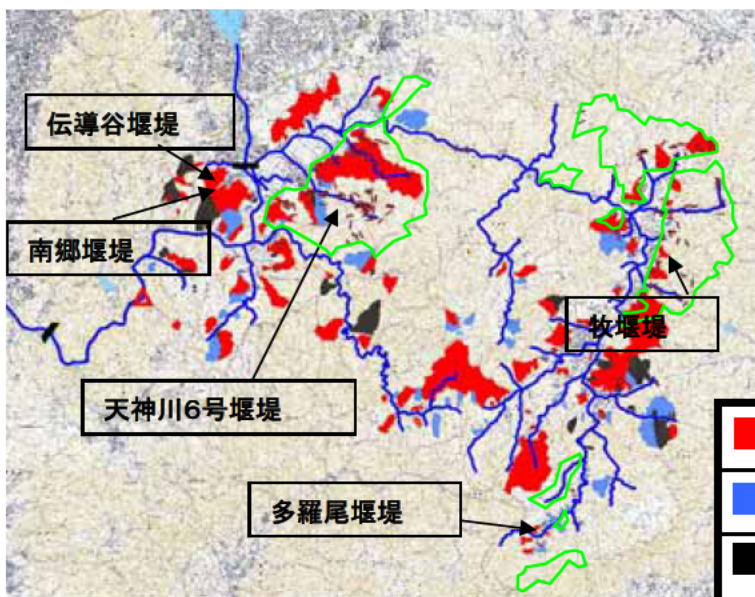
●今後の見通し等

土石流危険渓流対策や、禿しゃ地等における山腹工事

●進捗状況(写真・図面)

砂防施設整備状況及び土石流危険溪流

・瀬田川砂防(山腹工、砂防堰堤工)

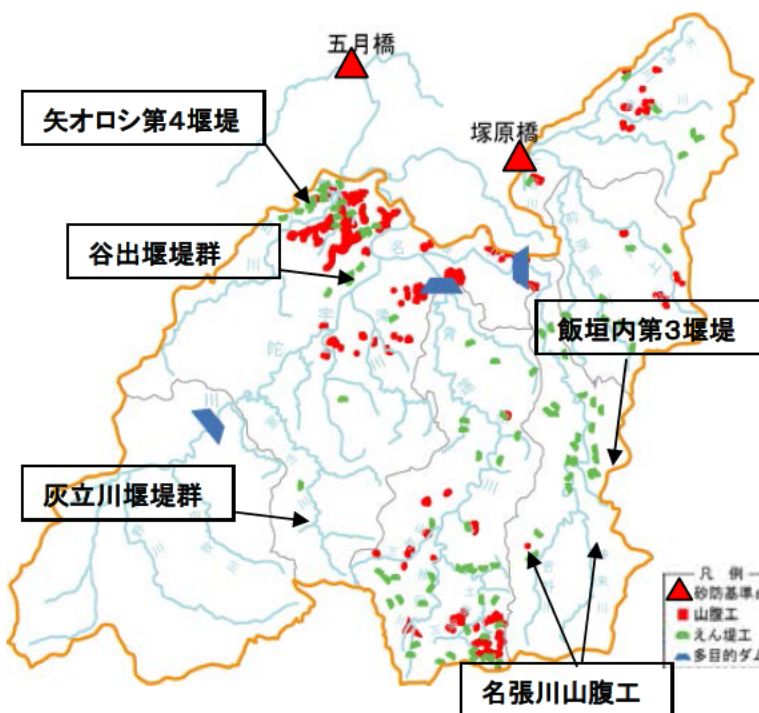


整備済砂防施設

	砂防堰堤	87基
	床固工	16基
	溪流保全工	6,817m
	山腹工	1,694ha

	土石流危険溪流Ⅰ	225 溪流
	土石流危険溪流Ⅱ	112 溪流
	土石流危険溪流に準ずる溪流Ⅲ	51 溪流
	被害家屋数	2258 戸
	被害人口	6489 人

・木津川砂防(山腹工、砂防堰堤工)



整備済砂防施設

砂防堰堤	103基
床固工	28基
山腹工	6.71ha
溪流保全工	7,238.7m

土石流危険溪流Ⅰ	446 溪流
土石流危険溪流Ⅱ	285 溪流
被害家屋数	5,634戸
被害人口	21,332人